

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分
電話 56-3131(呼)・有線2190(呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時
電話 56-1076(呼)・有線2251(呼)
- 立科町児童館/
午前 11時40分～午後1時30分
電話 56-0303(直通)
有線 8889(直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の
教頭先生へご連絡をお願いします。

「聴くこと」の大切さと難しさ

～平成28年度教育相談活動の スタートに当たって～

立科町教育相談員 岩上起美男

本年度も、立科町教育相談員として、
教育相談活動に携わらせていただくこと
になりました。微力ではございますが、
よろしくお願い申し上げます。

教育相談を、上記の「相談時間等」の
通り、立科小・中学校の登校日の月曜
日・水曜日・金曜日に行います。

午前は立科小学校、昼の時間帯は立科
町児童館、そして、午後は立科中学校に
おいて教育相談を行いますので、ご希望
の方は、事前に、希望される会場に電話
でご連絡をお願い致します。

不在や相談中の場合は、立科小・中学
校の教頭先生、もしくは、立科町児童館
にお申し出をいただき、相談日時の予約
をしていただきたいと思います。

プライバシー及び秘密を厳守し、ご希
望や必要に応じて、関係機関との連絡調
整を行います。

また、本年度も引き続き、「広報たて
しな」及び「有線放送」を通して、ささ
やかな体験と、ささやかとは到底言えな
い反省や後悔に基づいた提言をさせてい
ただきます。

先月の「広報たてしな」でも申し上げ
ましたが、「自分ほろくにできもしない
のに、求められてもいけないことをしたり
顔で提言する教育相談員」の「迷惑」を
自覚して、「迷惑」を減らすように努め
ながら、若い世代の方に伝えるべきこと

は伝えよう、という一心でご提言申し上
げます。ご自分の心のフィルターで取捨
選択され、ご自身の養育や教育実践に少
しでも生かしていただければ、幸甚の至
りに存じます。

ご意見やご質問、ご要望がございまし
たら、ご遠慮なく立科町児童館までお寄
せいただきたいと思います。

平成21年の「広報たてしな」6月号か
ら、本シリーズ「一緒に考えましょ
う!」の連載が始まりました。

その掲載一回目に、「配球の原点」と
題して、野球人、野村克也の捕手として
の信条を参考に、「聴くこと」の大切さ
と難しさに関する提言をさせていただきました。

知将とも老獪とも評される言動や風貌
に似ず、現役選手時代、野村克也は、日
本プロ野球史上屈指の強打者であり、イ
ンサイドワークに優れた名捕手でした。

しかし、名捕手、野村にしても、さすが
に1試合に何球かは配球に迷うことが
あったそうです。そのようなとき、野村
は必ず外角低めのストレートのサインを
出したそうです。投手のタイプに関係な
く、外角低めのストレートこそ、「配球
の原点」と信じていたからです。

親にも教師にも、どのように子どもに

接したらよいか迷ったり、困ったりす
ることがあります。真剣に、親身に取り
組もうとすればするほど、効果的な接し
方が見出せないケースがあります。

このようなとき、親や教師が立ち戻る
べき原点は、「聴くこと」ではないで
しょうか、という提言です。

子どもを取り巻く成長環境は、当ても
今も構造的な変化はなく、子どもの「心
の育ち」の幅広さやいじめ、電子映像メ
ディアの功罪、家庭及び学校・保育園・
児童館の連携、五無齋先生の教え、大人
の体たらく(我欲・身勝手・不見識・厚
顔無恥)など、教育相談の立場から提言
したい問題は山積していました。にもか
かわらず、「聴くこと」をシリーズの第
一回目に取り上げたことの意味は、老生
にとって非常に大きいものがあります。

と申しますのは、「聴くこと」が、児
童・生徒の学習活動や人間関係づくりの
中核となる行為と考えていたからです。

さらに、児童・生徒の気持ちを十分に
「聴くこと」ができれば、(親御さんや先
生方が抱えている問題のすべてを解決す
ることは困難であるとしても)、養育及
び教育の基盤となる児童・生徒との信頼
関係が築き易くなるからです。

さらにまた、「聴くこと」の大切さを
承知しながら、「聴くこと」の難し
さに押し流され、じつくり、親身に「聴